

徳島県春季少年柔道大会実施要綱

1 日 時

令和6年3月9日（日） 開館 午前8時30分～ 開会式 午前10時10分

2 場 所

鳴門大塚スポーツパーク内ソイジョイ武道館 鳴門市撫養町立岩四枚61番地 ☎ 088-685-3131

3 参 加 資 格

- (1) 県内に1年以上在住する小学生（小学5年生まで）
- (2) 父母の転勤、転居などの理由により移住した者は、(1)の限りでない。
- (3) 出場チームは全日本柔道連盟に団体登録していること。また、選手はその団体から登録をしていること。
- (4) 道場を移籍した選手は、移籍道場で全日本柔道連盟登を行ってから6ヶ月以上経過していること。

4 チーム編成（団体戦）

- (1) 所属団体単位編成するチームで試合を行い、各団体1チームとする。（混成チームは認めない。）
- (2) 1チーム構成は、監督1名、選手5名とする。（補員2名）
- (3) 申込時の学年は、4月からの新学年とする。（現在6年生は出場できない。）
- (4) チーム構成は **先鋒、次鋒が5年生 中堅、副将、大将は6年生**
※ 但し、下位学年の者が1学年上位に出場することはできるが、2学年上位に出場できない。
※ 選手は、各学年順に配列し、同学年内は「体重順」に配列すること。（補員なし）
- (5) 人数が5人に満たない場合は、後ろ詰めにする。当日の試合中に怪我による次戦の欠場の時も同様。ただし、2学年上の対戦はありません。（4年生は次鋒までとする。）
- (6) 一旦、申込登録をした選手の変更は原則として認めない。
※ 但し、突発的事故（負傷、インフルエンザ、その他病気等）の場合は医師の診断書を添え、大会当日（受付時）までに届け出ること。診断書がない場合は、代替選手の出場は不可となる。

5 試合方法

試合の対戦相手については、団体戦、個人戦共に大会当日受付終了後に抽選し決定するものとする。
(団体戦)

- (1) トーナメント戦方式で行う。
- (2) 団体戦の試合毎のオーダー変更は認めない。
- (3) 勝敗決定の方法は、次のとおりとする。
 - ① 勝数の多いチーム
 - ② 勝数が同数の場合は、「一本勝ち」「技あり」の勝数による。
 - ③ 内容も同数の場合は、ゴールデンスコアによる代表戦を1回行い、必ず優劣を決する。代表戦に
出場する選手は「引き分け」の中から抽選で1組を選んで通常の3分間の試合を行う。得点差が
なく、かつ「指導」の差が1以内の場合は旗判定で勝敗を決する。

(個人戦)

- (1) トーナメント方式により行う。
- (2) 試合は、学年別に行い、（学年は、団体戦と同様に新学年とする。）

6 審 判 規 定

- (1) 国際試合審判規定（少年規定）及び少年大会申し合わせ事項による。
- (2) 試合時間は、**団体戦は3分間**とし、**個人戦**については**2分間**とする。
- (3) 優勢勝の判定基準
団体戦 「一本」「技有」または「僅差（指導2の差）」以上とし、得点差がない場合は「引き分け」
とする。
個人戦 「一本」「技有」または「指導1」以上とし、得点差がない場合は僅少差（旗判定）をもつて勝敗を決する。（ゴールデンスコアは行わない） [得点] 一本⑩ 技有⑤ 僅差③

7 表 彰

- (1) 団体戦は、1位から3位までを表彰する。
- (2) 個人戦は、各学年1位から3位まで表彰する。

8 特 典

団体戦優勝チームは、令和7年全国少年柔道大会に出場する。（講道館・5月4～5日開催予定）

9 その他の

- (1) 万が一負傷した場合、応急処置はするが、その後の責任は負いません。
- (2) 試合当日は開会式の前までに団体戦出場選手を対象に体重測定を実施する。
※ 但し、申込み時と体重が違とはならず、同学年間での体重順の並び替えとなる。

第40回徳島県春季少年柔道大会

【柔道競技に関する新型コロナウイルス感染拡大防止対策】

今大会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、会場内は次の3.で認められた者以外の入場を不可とし、無観客とします。選手・保護者等関係者の皆様に周知をはかけていただき、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、次の事項について遵守していただきますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

1. 大会を開催するにあたって

- (1) 参加する選手は、大会中だけでなく日頃から感染症対策を行い、特に大会2週間前からの行動歴を記録しておくこと。（行動履歴記録表（様式3）に記入しておく）
- (2) 発熱等の症状が見られる選手がいた場合、その選手の大会出場は認めない。大会中に関しても引率者（監督）は選手等の健康観察を徹底し、仮に発熱等が見られた場合

は速やかに帰宅させる。

2. 会場への入場を認める者（観客以外）について

- （1）徳島県柔道連盟審判員などの役員及び補助員、当該参加チームの監督（指導者含む）、コーチ、選手、応援者（保護者1名）など。
- （2）徳島県柔道連盟少年部から入場を許可された者。（報道関係者）
- （3）選手以外の者は、健康観察チェックカード（様式4）の記入と本部へ提出をお願いする。

※感染症対策の観点から、参加チームの一般観客、保護者については基本的に会場への入場を認めない。

※入場を認められた者には、次の3. 以降の感染症対策項目について遵守を呼びかける。

3. 会場入場の条件（観客以外）について

参加者の健康記録表（様式4）に異常（発熱や有症状）がある場合や以下の場合には参加者の入場を断る。

- （1）「健康観察チェックカード」（様式4）を本部に提出していない者。
- （2）体調がよくない者（例：発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）。
- （3）同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる者。
- （4）過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある者。

4. 感染症防止について

①試合前

- ・本部で準備できるものには限界があるので、各チームで必要な新型コロナウイルス対策用品は準備すること。
- ・自チームや自宅を出発する前と、試合の前に必ず検温を実施すること。
- ・会場敷地内に入る際には、マスクを必ず着用すること。（ウォーミングアップ、試合出場時を除く）
- ・会場到着後、本部（受付）に「健康観察カード」（様式2）をチームごとにまとめ、提出すること。
- ・試合会場に入るときには、入口で必ず備え付けの消毒液で消毒を行うこと。
- ・会場内では、役員・審判員及び補助員等は必ずマスクを着用すること。
- ・ウォーミングアップの時間を学年ごとに設定するので、時間厳守で密にならないようにすること。
- ・個人試合（午後）では、該当学年の選手のみ柔道場に入場し、それ以外の選手は、選手待機場所で待機すること。
- ・団体試合では、該当チームのみ柔道場に入場し、それ以外のチームは選手待機場所で待機すること。
- ・試合会場では、各チームの間隔をあけ、密を避けること。
- ・参加者はマイタオル、マイボトルを持参し、タオルやボトルの共用をしないこと。
- ・会場内のゴミ箱の使用を禁止し、ゴミの持ち帰りを徹底させること。
- ・主に参加者の手が触れる場所は、定期的に消毒を行う。
- ・各チームの監督（引率者）は、生徒の健康観察を徹底する。

②試合中

- ・監督、待機選手は、必ずマスクを着用し、声を出しての指示や応援は自粛すること。
- ・監督、コーチ、選手は本部役員の指示に従うこと。
- ・会場等で急に風邪症状の選手が出た場合は、当該チームの監督が保護者に連絡し帰宅させる。その場合、他の選手等への健康観察を徹底させること。

③試合後

- ・個人試合では、試合が終了した選手は、更衣後、速やかに帰宅すること。
- ・団体試合では、試合が終了したチームは、更衣後、速やかに帰宅すること。
- ・ベスト4に進出したチーム、選手は表彰式があるので、柔道衣のまま参加すること。

